

# 電子カルテを のぞいてみよう！

— とことん教室・懇談会 —

病院で見かける機会が増えた電子カルテですが、どんなことができるかご存知ですか？

「医師は画面ばかり見て、患者の顔を見ない」という声もある中、患者も同じ画面を見ながら病状や検査結果の説明を受けることができるなど、さまざまな利点があります。電子カルテが普及し、医療機関や地域住民がつながることで、私たちが受けられる未来の医療や福祉サービスも変わります。電子カルテがもたらす利点や未来の可能性はどういうものか、実際の電子カルテをのぞき、操作しながら、とことん考えてみましょう。



講師 酒巻 哲夫氏  
高崎市医師会看護専門学校・副校長 群馬大学・名誉教授

日時 2015年1月24日（土）14:00～16:30（受付13:40～）

開催場所 早稲田大学 本庄キャンパス内 リサーチパーク  
コミュニケーションセンター N401（4階）

申込先 氏名・所属・住所・電話番号・メールアドレスなどを明記の上、会代表の大木里美まで（下記）  
①電子メール [enkakutokoton@yahoo.co.jp](mailto:enkakutokoton@yahoo.co.jp)  
②遠隔医療をとことん考える会 HP 内で受付 <http://enkakutokoton.jimdo.com/>

申込期限 2015年1月23日（金） ※参加費無料、先着49名の募集

主催 遠隔医療をとことん考える会  
後援 一般社団法人 日本遠隔医療学会  
地域の医療と健康を考える会（GHWの会）

## ● 遠隔医療とは何か (群馬大学医学部附属病院、日本遠隔医療学会 長谷川高志氏)

高齢や重い病気で、病院への通院がとても苦しい患者さんは少なくありません。難病などで診療してくれる医師が近くにいない、通院もままならない患者さんもいます。僻地や離島で医療機関が無い地域に住んでいる患者さんも少なくありません。そんな方々でも医師に診てもらえる方法が開発されました。

最近では、インターネットや携帯電話などの発達で、いつでもどこでも綺麗な画像のテレビ電話を掛けることができるようになりました。優れた医療機器も開発されて、家庭で計った血圧の数値を通信で医療機関に送り、見て貰うことも可能になりました。遠くの病院のカルテを近くの医療機関からコンピュータで見られることも可能になりつつあります。このような新しい医療スタイルを「遠隔医療」と呼びます。遠くの医師がテレビ電話で診察をして、負担の大きい通院の回数を減らすことや、家庭での体調のデータを常に医師や看護師に捉えてもらい、生活上での指導を受けることなど、多くの取り組みについて研究や実証が進んでいます。

しかしながら遠隔医療は、まだ社会に広く受け入れられていません。遠隔医療のことを知る患者さん、医師や看護師がとても少ないです。健康保険での扱い(診療報酬制度)も整備が進んでいません。厚生労働省や都道府県庁でも検討が進んでいません。遠隔医療を希望する患者さんが増えれば、実施できる医療機関も増えます。健康保険での受診への道も広がります。多くの皆さんに遠隔医療を知ってもらい、必要とする人々の手に届くようにしたいです。



岐阜県岐阜市 小笠原内科の遠隔医療

## ● 遠隔医療の普及への願い (遠隔医療をとことん考える会 会代表 大木里美)

難病を患う私が、遠隔医療の普及を願うのは、いつも不安だからです。地元で専門医がいないので遠くの病院へ通院していますが、体調が悪い時ほど自力では病院に行けません。年々、体調が悪くなっていく中、不安は大きく、大きく膨らんでいきます。

だけど、そんな不安を安心にかえる手段の1つが、遠隔医療の普及だと思っています。自宅で診察が受けられるようになったら、どれだけ通院の負担が減ることでしょう。体調が悪い時も診てもらえます。自宅で医療者に相談ができるようになったら、どれだけ心強いことでしょう。体調を悪化させずにすみます。

そこで、日本遠隔医療学会で長年ご尽力されている酒巻哲夫先生、長谷川高志先生、瀧澤清美さん、友人の竹沢弘子さんのお力をお借りして、「遠隔医療をとことん考える会」を立ち上げました。

患者・市民向けの勉強会や懇談会を定期的で開催し、みんなとことん考えながら、遠隔医療の普及への願いを関係各所に伝える活動をしています。いつか願いが叶い、「いつも安心!」と笑顔で言える日がくることを信じて…。

遠隔医療の普及を望む方、関心がある方、応援して下さい、サポーターになって下さると嬉しいです。

## ● 交通のご案内 ※駐車場あり

### ①上越新幹線の場合

「本庄早稲田駅」下車 徒歩約3分

### ②JR 高崎線の場合

「本庄駅」下車

- ・本庄駅南口からタクシーで約10分
- ・本庄駅南口から「はにぼんシャトル」で約12~13分  
(本庄駅南口~本庄早稲田駅北口間を運行中)



## ● 遠隔医療と患者・市民の架け橋「遠隔医療をとことん考える会」の詳細は下記へ

遠隔医療をとことん考える会ホームページ <http://enkakutokoton.jimdo.com/>